

近年頻発する水害から身を守るため 情報通信に求められていることを考える

日
時

令和元年 **12月4日(水)**
13:00~17:30 【開場】12:30

定員
150名

入場
無料

会場

KKRホテル大阪 3階
(大阪市中央区馬場町2-24)

講演1 防災気象情報を活用して大雨による災害から身を守る

講師:大阪管区气象台 気象防災部 気象防災情報調整官 **弘田 実氏**

身のまわりにある災害の危険を事前に確認し、防災気象情報を活用して、早め早めに、避難など安全を図るために行動することが重要です。今年から開始された警戒レベル、大雨気象情報等の発表タイミングや大雨・洪水警報の危険度分布の利活用について説明します。

講演2 SIP4Dを活用した災害情報共有の取り組み

講師:国立研究開発法人防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター
コーディネーター **花島 誠人氏**

防災科研が戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の一環として開発し、実際の災害対応において活用されている基盤的防災情報流通プラットフォーム(SIP4D)の概要を解説するとともに、近年発生した自然災害における利活用事例を紹介します。

講演3 災害情報の高度化は人々の避難行動を促進するのか？

講師:関西大学社会安全学部 教授 **元吉 忠寛氏**

避難情報が出ても人々が避難しないことは繰り返し指摘されています。研究者は高度で精緻な情報を出すことによって、人々の避難行動を促進しようとしています。災害の発生を的確に予測し、適切なタイミングで情報を出すことに加えて、更なる工夫が必要と考えます。災害心理学から人々の避難について考察します。

同時開催

防災関連機器 展示会

開催テーマに沿った展示を中心に、発災時に有効な防災情報伝達システムや各種防災機器から、最新の機器10数点を展示し、防災・減災対策の整備の参考となる情報を提供いたします。

防災情報通信セミナー2019プログラム

開場 12:30

予定時間		講演会	展示会
13:00-13:10	10分	開会・主催者挨拶	13:00～17:30 開催時間は、都合により変更する場合があります。
13:10-14:00	50分	講演1「防災気象情報を活用して大雨による災害から身を守る」 大阪管区気象台 気象防災部 気象防災情報調整官 弘田 実 氏	
14:00-14:10	10分	休憩	
14:10-15:20	70分	講演2「SIP4Dを活用した災害情報共有の取り組み」 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国家レジリエンス 研究推進センター コーディネーター 花島 誠人 氏	
15:20-15:30	10分	休憩	
15:30-16:40	70分	講演3「災害情報の高度化は人々の避難行動を促進するか？」 関西大学社会安全学部 教授 元吉 忠寛 氏	
16:40-16:45	5分	閉会	

※予定時間は、多少前後する場合がありますので、あらかじめご注意ください。

お申込み方法

- 講演会の参加を希望される方は、FAXまたは電子メールでお申込みください。
- 展示会は、参加申込み不要で、ご自由に見学できます。
- FAXでの申込みは、下記の参加申込書に必要事項を記入の上、送信してください。送信票は不要です。
- 電子メールでの申込みは、件名を「防災情報通信セミナー講演会申込み」とし、①所属企業・団体名、②部署、③氏名、④連絡先電話番号を記載して送信してください。なお、必要事項を記載した参加申込書を添付して、お申込み頂いても結構です。
- 受付完了の連絡は、申込者にFAX又は電子メールで行います。
- 申込みされた個人情報は、本セミナーの開催に関わる以外の目的で使用いたしません。

■ 申込先 防災情報通信セミナー事務局（近畿総合通信局防災対策推進室）

■ FAX 06-6942-1849 ■ E-mail d-seminar@soumu.go.jp

参加申込書

所属企業・団体名 (個人の場合は記載不要)			
申込者			
部署名	氏名	TEL	FAX
講演会参加希望者（申込者と同一の場合は省略可）			
部署名	氏名	部署名	氏名
通信欄			

会場のご案内

KKRホテル大阪 3階 銀河(講演会)、曙(展示会)

大阪市中央区馬場町2-24

JR環状線「森ノ宮駅」下車 北出口より西へ徒歩10分

地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」下車 7番B出口より西へ徒歩10分

地下鉄中央線・谷町線「谷町四丁目駅」下車 9番出口より東へ徒歩10分